

# 人材

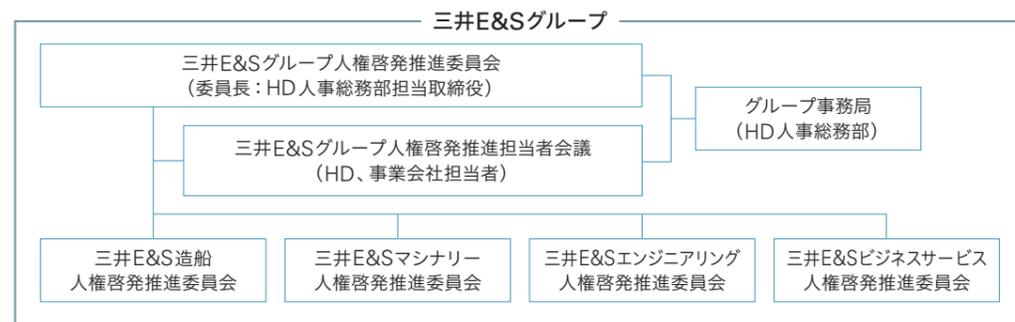
## 一人ひとりが尊重される職場であるために

### 基本方針

三井E&Sホールディングスおよび三井E&S造船、三井E&Sマシナリー、三井E&Sエンジニアリング、三井E&Sビジネスサービス(以下、「三井E&Sグループ」と言う)は、傘下企業とともに社会的責任を有する企業の一員として真に差別のない企業風土をつくるため、同和問題をはじめ、性差別、人種差別などの人権問題の解決を重要課題として位置付け、人権尊重の理念のもとに日々の事業活動を通じてその解決に努めます。

### 組織体制(人権啓発推進のための組織・体制)

三井E&Sホールディングス人事総務部担当取締役を三井E&Sグループ人権啓発推進委員長とし、推進委員長のもとに三井E&Sグループ各社に人権啓発推進委員会を設置するとともに、グループ企業間の調整を図るために、諮問機関として三井E&Sグループ人権啓発推進担当者会議を設置しています。



企業活動においては、職場で働く一人ひとりがかけがえのない存在であり、人権が尊重される職場環境は単に働きがいや生きがいを生むだけでなく、従業員の能力を最大限に発揮し、生産性向上にもつながると考えています。そのような考えのもと、当グループでは「人権啓発基本方針」を定め、全役員を対象とした人権啓発研修の実施をはじめ、階層別に様々な人権啓発活動を取り組むことにより、人権を尊重した平等で差別のない職場環境作りに努めています。

### TOPICS

#### 従業員のモチベーションアップとエンゲージメント強化のために

三井E&Sグループでは、組織や従業員の状況を可視化し改革へのアクションにつなげていくことを目的に会社や職場、仕事・処遇などに関する魅力度に関して、従業員を対象とした「モチベーションサーベイ」を実施しました(事務系及び技術系従業員を対象に2019年1月実施。回答者2,359名、回答率95%)。この結果を受け、従業員の一層のモチベーションアップにつながる各種施策に取り組んでいます。

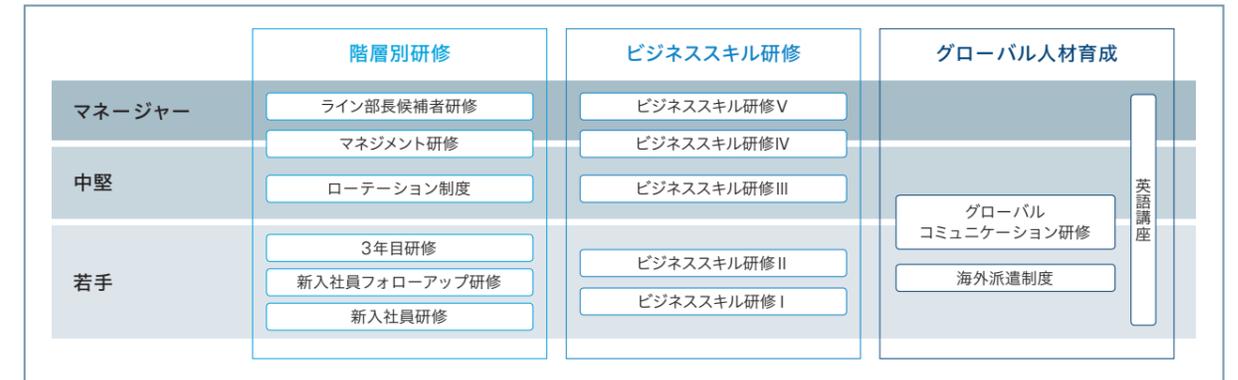
- ・三井E&Sホールディングス及び事業会社各社長による対話会や車座を通じた事業戦略の浸透
- ・モチベーション向上/エンゲージメント強化の中核となるマネージャー層を対象とした研修の実施
- ・従業員主体で進める改善活動やモチベーションアップ活動の推奨

三井E&Sグループでは人材こそが競争力の源泉として、継続してモチベーションサーベイを実施、モニターしていく中で、従業員が高いモチベーションをもって力を発揮できるよう各種施策に取り組んでいきます。

### 人材育成の取り組み

若手社員の育成目標として「5年で一人前」を掲げ、入社1年目・3年目の集合研修、職種に応じた基礎技術に関する研修などを実施するとともに、中堅、マネージャーなどの階層に応じた研修を実施しています。また、グローバル人材育成の観点からは、英語講座や異文化コミュニケーションに関する研修、若手社員を対象とした海外派遣を行っています。

### ● 教育研修制度



### 海外派遣制度

#### 【制度の概要】

本制度は、2015年に以下の目的で制度を構築し、運用を開始しました。

#### 【目的】

海外での業務や生活を体験することにより国際感覚を養い、将来の海外拠点(現地法人含む)やプロジェクトのマネジメントを担う人材の基礎づくりを行います。

現担当業務で海外経験を積む機会が少ない若手社員(入社3~5年目)に、機会を提供します。

#### 【求められる成果・目標】

海外での業務(法務・経理・税務・総務・人事など)・生活を広く経験することにより、海外で業務を遂行するマインド・スキルを総合的に養うことを成果目標としています。

### ワークライフバランスへの取り組み

#### 在宅勤務制度を導入

従来から運用しているコアタイムなしのフレックスタイム制度や時間年休制度に加えて、2018年3月から在宅勤務制度を導入しました。さらに2019年4月からは育児や介護といった利用目的を限定せず、在宅勤務が可能な社員は誰でも利用できるように制度を緩和しました。働く場所や時間にとらわれない柔軟で多様な働き方を通して、個人の能力を最大限に発揮することを目指しています。

#### 「在宅勤務促進デイズ」の実施について

2019年7月22日~9月6日まで、三井E&Sホールディングスと三井E&Sビジネスサービスの全従業員を対象に「在宅勤務促進デイズ」を実施しています。対象者のうち3割が制度を利用(予定含む)しています。

### TOPICS

#### 次世代認定認定マークである「くるみんマーク」を取得

三井E&Sホールディングス(旧三井造船)は、2017年8月22日付で厚生労働省より「次世代育成支援対策推進法」に基づく「子育てサポート企業」として認定され、次世代認定マークである「くるみんマーク」を取得しました。従業員が仕事と家庭を両立し、それぞれのライフイベントの状況に応じて能力を最大限発揮できる職場づくりを目指し、仕事と家庭の両立支援や働き方の見直しに資する労働条件の整備などに取り組んでいます。なお、持株会社制移行による分社化を受けて、三井E&Sグループ各社がそれぞれ行動計画を策定、取り組みを進めています。



「三井E&Sグループ健康経営宣言」の制定

三井E&Sグループは、2018年4月に持株会社体制へ移行し、新たな一歩を踏み出しました。グループ各社には、自立の精神と更に事業を発展させるための変革が求められていますが、多くの課題も残されており、グループ全員が一丸となって問題を解決していかなければなりません。

このような状況において、従業員の健康は企業活力の源泉であり、「人の三井」と言われるように、ひとを大切に企業風土を活かしていきたいと考えています。

「安全で働き甲斐のある職場を実現する」という経営姿勢に則り、従業員一人ひとりの心身の健康保持・増進を一層推進するため、「三井E&Sグループ健康経営宣言」を制定しました。

**三井E&Sグループ健康経営宣言**

三井E&Sグループは、「社会に人に信頼されるものづくり企業であり続けます」という企業理念のもと、ものづくりの力で社会の発展や地球環境の保全に貢献する企業を目指しています。

「安全第一、健康第一」はものづくり企業であり続けるための最優先事項であり、重要な経営課題です。

従業員とその家族の健康保持・増進を会社と健康保険組合が積極的にサポートし、安全で快適かつ健康的な職場環境を目指して、健康経営に積極的に取り組んでいきます。

2019年7月1日  
株式会社三井E&Sホールディングス  
代表取締役社長

岡 良一

重点施策

1 からだの健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断の実施とその結果に基づく生活習慣病予防・重症化予防対策</li> <li>健康保険組合とのコラボヘルス事業としての健康アタック、健康セミナー等</li> <li>事業所運動会、ソフトボール大会、ファミリーフェスティバル等</li> </ul>
2 こころの健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>セルフケア：ストレスチェック、メンタルヘルス研修</li> <li>ラインケア：ラインケア研修、解決志向型コミュニケーション研修</li> <li>産業保健スタッフによるケア：産業医面接、休業者職場復帰支援</li> </ul>
3 職場の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>長時間労働者医師面接による健康管理の徹底</li> <li>年休取得促進月間や年休奨励日、メモリアル休日の設定による確実な休日取得</li> <li>ストレスチェック結果に基づく高ストレス職場の職場環境改善活動</li> </ul>

健康な職場づくりへの取り組み

三井E&Sグループ各社は、従業員の心身の健康管理に積極的に取り組み、快適な職場を実現することを安全衛生管理計画の基本方針としています。

定期健康診断結果をデータベース化し、産業保健スタッフ及び健康保険組合にて各個人の健康管理を徹底しています。一例として、特定健診の結果から内臓脂肪蓄積のリスクを判定し、生活習慣病予備群に該当する従業員への特定保健指導(対象者の支援レベルに合わせた働きかけやアドバイス)や、ハイリスク者を対象とした重症化予防のための個人指導などを行っています。また、三井E&Sグループ各社の従業員と被扶養者を対象とした「健康アタック」では、多彩なコースの中から自分に合った健康課題を選択し、3カ月間取り組んでいただくことで健康増進支援をしています。メンタルヘルス施策としては、階層別研修会、ストレスチェック、メンタルヘルスニュースの発行、カウンセラー面談などを計画的に実施しています。階層別研修会の一例として、三井E&Sマシナリー／玉野機械工場では、解決志向型コミュニケーション研修(ソリューションフォーカス)を2012年度から導入し、職場の人間関係や個人の心理状態の改善、如いては工場の生産性向上に役立てています。

また、事業場外資源(外部委託)によるEAPサービス(従業員支援プログラム)を三井E&Sグループ各社の従業員(約9千人)とその家族が利用できるよう、三井E&Sホールディングスにて一括契約しています。このサービスは、電話・Web・FAX・面談にて健康・メンタル・法律相談をプライバシーが厳守されたうえで24時間受け付けるもので、10年以上継続している従業員支援策です。



解決志向型コミュニケーション研修



健康アタック

各事業場において、職場の活性化と親睦を目的とした労使共催職場対抗ソフトボール大会、事業場運動会、ファミリーフェスティバル等を開催しています。



千葉事業場2018ソフトボール大会優勝チーム



玉野事業場 三井E&S運動会



大分事業場 2018オースタムフェスタ

TOPICS

健康経営優良法人2019(ホワイト500)認定について

三井E&Sグループ5社(三井E&Sホールディングス、三井E&S造船、三井E&Sマシナリー、三井E&Sエンジニアリング、三井E&Sビジネスサービス)は、経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)ホワイト500」に2019年2月21日付で認定されました。当社グループは2018年2月、三井造船として2018年度のホワイト500に認定され、三井E&Sホールディングスを持株会社とする三井E&Sグループ5社が認定を受け継ぎました。2019年度認証は、ホールディングス体制移行後の三井E&Sグループ5社として初めての認定となりました。

